

福井県感染症発生動向調査速報 <<平成16年>>

<週報> 第11週 (平成16年 3月 8日 ~ 3月14日)

発行日: 平成16年3月17日

<月報> 第2月 (平成16年 2月 1日 ~ 2月29日)

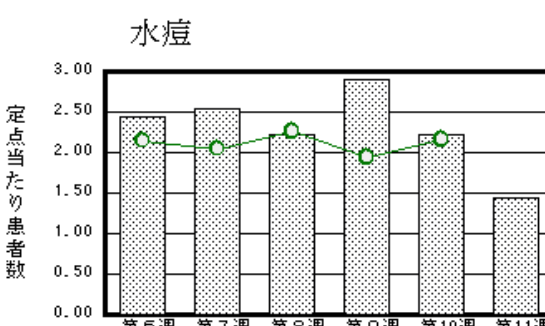
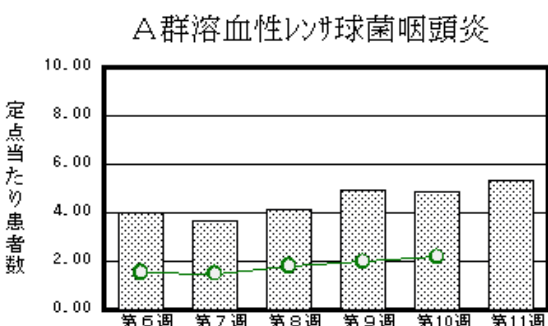
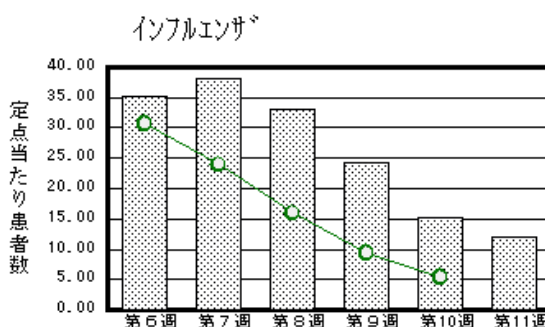
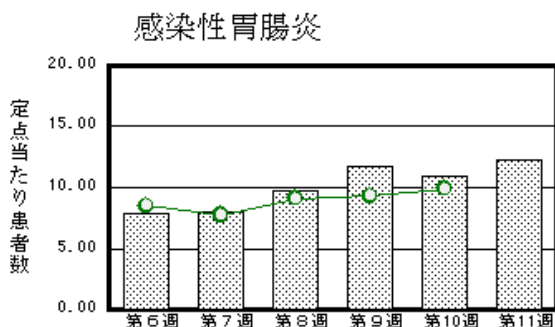
発行: 福井県福祉環境部健康増進課

福井県衛生環境研究センター

kansen@erc.pref.fukui.jp

注目疾患の動向

1. 【今週の上位5疾患】 感染性胃腸炎270名(12.3名) インフルエンザ385名(12.0名) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 117名(5.3名) 水痘32名(1.5名) 伝染性紅斑23名(1.1名) ()内は定点当たり人数
2. 【報告数の多い疾患】 インフルエンザ(385名) 感染性胃腸炎(270名) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(117名) 水痘(32名) 伝染性紅斑(23名)
3. 【インフルエンザ】 報告数は減少しました。(489名 385名) 定点あたり患者報告数で見ると福井地区16.7名、丹南地区16.5名、奥越地区は13.7名と依然注意報レベルとなっています。県全体では昨年並みになりましたが、丹南地域は先週より増加しており、地域によっては、引き続き注意が必要です。
4. 【感染性胃腸炎】 報告数は増加しました。(240名 270名) 定点あたり患者報告数は福井地区22.3名、丹南地区12.0名、坂井地区10.0名の順になっています。
5. 【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】 報告数はわずかに増加しました。(107名 117名) 奥越地区で定点あたり14.0名と県内トップとなっており、続く丹南地区8.2名、福井地区5.4名となっています。
6. 【水痘】 報告数は減少しました。(49名 32名) 福井地区で定点あたり2.3名、丹南地区で2.0名となっていま



棒グラフは福井県、折れ線グラフは全国の数値を表しています。

各疾患の動向グラフについては福井県感染症情報のホームページをご覧ください。

感染症週報全国版の要点

2004年第9週号(2月23日~2月29日)要点

発生動向総覧	<第9週> A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は第51週をピークに減少したが、第3週から再び増加傾向が認められ、第9週も増加した / その他最新動向
注目すべき感染症	<風しん及び先天性風しん症候群> 第9週には、今年第1例目の先天性風しん症候群が報告された <インフルエンザ> 第5~6週にかけて最も報告数が増加した後、第7週からは減少し、第9週ではすべての都道府県で前週に比べて減少した
病原体情報	患者から分離・検出された病原体報告 - インフルエンザウイルス2003/04シーズン / 冬季の感染性胃腸炎関連ウイルス2003/04シーズン
速報	「急性脳炎(ウエストナイル脳炎及び日本脳炎を除く)」の届出基準の改正について
海外感染症情報	リベリアでの黄熱流行 - 更新 / 西アフリカでのポリオ流行 - 更新 / インドネシアでのデング熱 - 更新 / 鳥インフルエンザA(H5N1)更新情報31報
感染症の話	<今週はお休みです>

詳細は国立感染症研究所感染症情報センターのホームページをご覧ください。 <http://www.idsc.nih.go.jp>

全数届出の感染症(福井県)

今週は報告はありません。

福井県感染症発生動向調査

[定点報告:五類感染症(週報分)] 平成16年 第 11 週 平成16年3月8日(月)～平成16年3月14日(日)

定点種別 (定点数)	保健所 病名	福井	坂井	二州	若狭	奥越	丹南	計	前週	全国(10週)
インフルエンザ (32)	インフルエンザ (高病原性鳥インフルエンザを除く)	184 16.73	16 5.33	10 2.5	2 0.67	41 13.67	132 16.5	385 12.03	489 15.28	24891 5.29
小児科 (22)	RSウイルス感染症									110 (9週)
	咽頭結膜熱	3 0.43				2 1		5 0.23	6 0.27	556 0.18
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	38 5.43	10 3.33			28 14	41 8.2	117 5.32	107 4.86	6602 2.17
	感染性胃腸炎	156 22.29	30 10.00	6 2		18 9	60 12	270 12.27	240 10.91	30175 9.93
	水痘	16 2.29	2 0.67	1 0.33	1 0.5	2 1	10 2	32 1.45	49 2.23	6566 2.16
	手足口病				2 1	1 0.5	1 0.2	4 0.18	7 0.32	156 0.05
	伝染性紅斑	18 2.57					5 1	23 1.05	18 0.82	939 0.31
	突発性発しん	6 0.86		2 0.67	1 0.5	2 1	5 1	16 0.73	12 0.55	1799 0.59
	百日咳									26 0.01
	風しん	1 0.14	1 0.33					2 0.09		116 0.04
	ヘルパンギーナ	1 0.14						1 0.05		101 0.03
	眼科 (3)	麻しん(成人麻しんを除く)								
流行性耳下腺炎		5 0.71	1 0.33	1 0.33			3 0.6	10 0.45	13 0.59	1714 0.56
急性出血性結膜炎										20 0.03
基幹 (6)	流行性角結膜炎									623 0.98
	細菌性髄膜炎									8 0.02
	無菌性髄膜炎									9 0.02
	マイコプラズマ肺炎								2 0.33	90 0.19
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)									3 0.01
成人麻しん									2 0.00	

インフルエンザは、小児科定点 + 内科定点

細字は定点当たり患者数

(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患。全国の集計は第9週分である。

福井県感染症発生動向調査(定点報告:五類感染症)

平成16年第11週 平成16年3月8日(月)～平成16年3月14日(日)

インフルエンザ 定点	インフルエンザ(高病原性 鳥インフル エンザを除く)	小児科 定点	RSウ イルス 感染症	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レ ンサ球 菌咽頭 炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	風しん	ヘルパ ンギー ナ	麻しん (成人 麻しん を除く)	流行性 耳下腺 炎	眼科・基幹 定点	急性出血 性結膜炎	流行性角 結膜炎	細菌性髄 膜炎	無菌性髄 膜炎	マイコプラ ズマ肺炎	クラミジア 肺炎(オウ ム病を除 く)	成人麻し ん	
6ヶ月未満	10	6ヶ月未満			1	4	1			1						6ヶ月未満								
12ヶ月未満	5	12ヶ月未満		1	1	14	3			8			1			12ヶ月未満								
1歳	53	1歳			5	43	8		1	5						1歳								
2歳	36	2歳			7	35	7		1	2					1	2歳								
3歳	38	3歳			15	32	4	1	3						1	3歳								
4歳	36	4歳			21	32	6		3						3	4歳								
5歳	19	5歳			16	28	1	2	4						1	5歳								
6歳	29	6歳		1	8	21			5						3	6歳								
7歳	19	7歳			11	14			1							7歳								
8歳	15	8歳		1	14	7			2							8歳								
9歳	16	9歳			3	12		1	1							9歳								
10～14歳	36	10～14歳		2	9	19	2		2			2			1	10～14歳								
15～19歳	9	15～19歳			1	3										15～19歳								
20～29歳	19	20歳以上			5	6										20～29歳								
30～39歳	16															30～39歳								
40～49歳	10															40～49歳								
50～59歳	8															50～59歳								
60～69歳	4															60～69歳								
70～79歳	4															70歳以上								
80歳以上	3																							
合計	385	合計		5	117	270	32	4	23	16		2	1		10	合計								
前期計	489	前期計		6	107	240	49	7	18	12					13	前期計						2		
当期間/前期	0.79	当期間/前期		0.83	1.09	1.13	0.65	0.57	1.28	1.33	***	***	***	***	0.77	当期間/前期	***	***	***	***		0	***	***
増減数	-104	増減数		-1	10	30	-17	-3	5	4		2	1		-3	増減数						-2		

(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患

***は前期計が"0"のとき

福井県感染症発生動向調査(定点報告:五類感染症月報分)

平成16年2月

[患者数:人]

	STD 定点数	性器クラミジア		性器ヘルペス		尖形コンジローム		淋菌感染症		合計		基幹 定点数	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	薬剤耐性緑膿菌感染症	合計
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女					
福井	2	5	4	1		1		4		11	4	2				
坂井	1											0				
二州	1											1				
若狭	0											3				
奥越	0											1				
丹南	1	4		1						5		1				
合計	5	9	4	2		1		4		16	4	8	20	12	1	33
前期計	5	9	7	3	1			11		23	8	8	27	7	1	35
当期間/前期		1	0.57	0.67	0	***	***	0.36	***	0.7	0.5		0.74	1.71	1	0.94
増減数			-3	-1	-1	1		-7		-7	-4		-7	5	0	-2

[定点当たり患者数:人/定点]

	STD 定点数	性器クラミジア		性器ヘルペス		尖形コンジローム		淋菌感染症		合計		基幹 定点数	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	薬剤耐性緑膿菌感染症	合計
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女					
福井	2	3	2	1		1		2		6	2	2				
坂井	1											0				
二州	1											1				
若狭	0											3				
奥越	0											1				
丹南	1	4		1						5		1				
合計	5	1.8	0.8	0.4	0	0.2	0	0.8	0	3.2	0.8	8	2.5	1.5	0.13	4.13
全国2月	918	1.41	1.75	0.36	0.49	0.29	0.24	1.14	0.28	3.2	2.76	466	3.99	1.39	0.08	5.46

[年齢階層別患者数:人]

	STD	性器クラミジア		性器ヘルペス		尖形コンジローム		淋菌感染症		合計		基幹	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	薬剤耐性緑膿菌感染症	合計
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女					
0歳														1		1
1歳~4歳													2	3		5
5歳~9歳																
10歳~14歳														1		1
15歳~19歳		1	1							1	1					
20歳~24歳		1	2							1	2					
25歳~29歳		4						1		5						
30歳~34歳		2						3		5						
35歳~39歳			1								1					
40歳~44歳																
45歳~49歳						1				1						
50歳~54歳		1								1						
55歳~59歳														1		1
60歳~64歳				1						1				2		2
65歳~69歳													1	2		3
70歳以上				1						1			17	2	1	20
合計		9	4	2		1		4		16	4		20	12	1	33
前期計		9	7	3	1			11		23	8		27	7	1	35
当期間/前期		1	0.57	0.67	0	***	***	0.36	***	0.7	0.5		0.74	1.71	1	0.94
増減数			-3	-1	-1	1		-7		-7	-4		-7	5		-2

***は前期計が 0 のとき